



河辺林通信

建部北町の森から

2017年1月号 No.225

2017年もどうぞよろしくお願いいたします（河辺いきものの森・遊林会スタッフ一同）

新年のご挨拶

新年おめでとうございます。

遊林会の活動は、2017年の7月で20年目に突入します。河辺いきものの森は多くの方々によって維持され、また建部里まつりなど地元の方にも利用して頂けるようになりました。蒲生岡本にある梵釈寺の裏山の整備では、枯れたドングリの木を薪にし、その地域にある岡本宿のガリ版ホールで使っていただいている。奥にある池は、見晴らしも良くなり、青葉の季節が楽しみです。

昨年は、保全に関わって下さる会員さんを増やすことが本年の課題と書きましたが、活動日には親子連れや子どもの頃に森のイベントに参加していた大学生の参加があつたりと新しいメンバーが増えつつありますが、さらに多くのメンバーが増えればと願っています。

本年もよろしくお願いします。 代表 井田三良

モリイコ！の子どもたち

8回目の「モリイコ！S」は森の保全をしながら楽しめるプログラムを行いました。ツルを退治してリースを作ったり、竹は放っておくと茂りすぎて森が荒れてしまう話をしてから竹の伐採をしました。また、伐った竹でコップを作り、竹の切れ端や落ち葉を使って、年賀状作りをしました。

リースも年賀状もある物を利用して工夫し、隊長達が思いつかないような、その子らしさあふれる素敵な作品が出来ました！ 子ども達の柔軟な発想力を見ることができました。



クリスマスコンサート大盛況でした♪

10日、日本センチュリー交響楽団のクラリネット、弦楽奏者によるクリスマスコンサートが行われました。クラリネットの暖かく滑らかな音色と弦楽器の繊細で奥深い響きが相まり、素晴らしい演奏に集まった70人の観客が魅了されました。来場いただいた皆様、演奏者の皆様、ありがとうございました。



モリイコ！はクリスマスシーズンということで、大好きな家族と、モリイコの活動が出来るのは森があるからこそとの感謝の思いを込めて『一日サンタクロース』になってプレゼントを贈るために活動をしました。まずは、自分達で薪組みから火つけまで行い、大きなたき火でサツマイモを焼いて、家族には焼きイモのプレゼントを。そして、寒い冬の時期に落ち葉かきをすることで、地面に光が当たり下草が育つこと、集めた落ち葉は小さな生き物の住みかや食べものになり、最後は栄養たっぷりの土に生まれ変わる話をした後、森には『落ち葉かき』のプレゼントをしました。子ども達は手作りの赤いサンタ帽子をかぶって、汗をかきながら一生懸命落ち葉をかいてくれました！子ども達のお陰で光が当たり、地面の植物達が喜んでいるように見えました。

●12月の作業だより

第2土曜日（12月10日）43人

- ① **植物いたわり班** オカトラノオの種の採取を行いました。今年は夏にクズやセイタカ退治を重点的に行つたかいもあり、多くの種が集まりました。2月頃に種蒔きを行います。
- ② **落ち葉かき班** 交流広場で、30人近くの人が落ち葉かきを行いました。落ちたての落ち葉はかきやすいのですが、地面にはびこるティカカズラに熊手がひつかかり大変でした。
- ③ **屋根の修理班** 作業小屋前にある屋根の竹を交換しました。
- ④ **お昼ご飯班** 12月はやっぱりおもち！みんなでついたつきたてのおもちは柔らかくって美味しかったです。

梵釈寺（12月15日）16人

ナラ枯れの木を伐採し、運び出す作業が重労働でした。他にも常緑樹の伐採も行い、地面に光が当たるようにしました。春にどんな植物が生えてくるか楽しみです。

第4水曜日（12月21日）17人

野神さん周辺で、竹林整備を行いました。伐った竹は竹工作の材料などで大切に使わせて頂きます。



↑第2土曜日、にぎやかな食事タイムでした

12月観察会

今回は、森の中でいちばん目を引くある色に注目。ということで「森の赤色めぐりツアー」へ。この日は朝から冷たい風が吹き、いよいよ冬本番な寒さとなりました。ファイヤーサークルの火の前で温まりながら、赤色の実は鳥に人気だと言うけれど、実際のところは…？といった森の赤色にまつわる話を少しして、森の中へ。

ちなみに鳥は、おいしいものから食べるそうで、センターの近くに実がなっているクスノキ（黒っぽい色の実）とクロガネモチ（赤色の実）だと、食べられる部分の多いクスノキが先に食べられ、クロガネモチは後回しです。

森の中では、赤と黒のコントラストが目立つゴンズイの実や、赤く色づいたコナラの葉っぱを見たり、ドングリの木の大きな葉っぱの落ち葉とモミジの落ち葉のじゅうたんを歩き比べたりしました。



落ち葉ミジでのジのじくくどう楽たやしんはらですふい。わ落

スタッフより

新年おめでとうございます。トップは、森で働くスタッフ（森番さんは地域の行事でおられません…）の集合写真です。着物姿がいるのは、結婚の前撮りを森で行ったからです。なかなか絵になる森、オススメは野神さん、苔と整備された竹林が素敵です。好きな場所で撮影でき楽しい一日でした。

吉岡

1月の活動日

1/14 (土)	竹林整備 落ち葉かき 機械刈り (くさはら広場)
1/19 (木)	木まま 梵釈寺
1/25 (水)	竹林整備 林床整備

朝9:00～（遅刻可）

第2土曜日は、9:00より
1時間ほど観察会を行います

エコツーリズム研修に行ってきました

12月13日・14日の2日間、三重県鳥羽市の「海島遊民くらぶ」へ、エコツーリズムの研修に行ってきました。

まずは、海島遊民くらぶのツアーを体験し、その後に座学で様々なことを学びました。

エコツーリズムを行う際に一番大事なことは、地域住民との関係にあると私はこの研修で学んできました。地域住民の方の困り事を解決して、さらに地域（この場合は東近江市）に多くの利益をもたらすことがこのエコツーリズムなのだと思います。

その際、地域の資源を利用するわけではありますが、ただ利用するだけではなく地域資源の再生も同時に行わなくては、今後エコツーリズムを続けていくことが不可能だということも学びました。なぜなら、資源の消費だけでは地域資源が枯渇し、地域の魅力を失わせてしまうことになるからです。

現在残っている地域の魅力・資源を利用して、その大切さや重要さに気づくことがエコツーリズムの目的ではあります。しかし、過去にあったもの、つまり「失われた魅力」に気づくこともまたエコツーリズムではないでしょうか。

皆さんも何か困り事がありましたら、教えてくださると嬉しいです。

遊林会 望月

[発行者]

特定非営利活動法人
里山保全活動団体 遊林会
代表理事 井田 三良
〒527-0003
滋賀県東近江市建部北町531
河辺いきものの森内
電話：0748-20-5211
メール：ikimono@e-omi.ne.jp